

前期課程(春季入学試験)

2026年2月13日

科 目 名	受験番号	
日 本 語	氏 名	

- 1 次のひらがなの文章を、漢字・カタカナにできるところを漢字・カタカナにし、読みやすい日本語にしてください。(20 点)

ただひたすらにぎつねんをすてさり、めのまえのぶんしょうにせいしんをしゅうちゅうする。それ
 いがいになにもしやにはいらず、どんなにものおとがうるさいばしょにいてもみみにはなにもきこ
 えず、ぶんしょうのいみいがいのしねんがあたまにまったくうかんでこずというじょうきょうにま
 でいたると、とつぜんおどろくほどのすぴーどで、めがはしっていくようになる。もじのうえをめ
 をはしらせていくせいりてきすぴーどのげんかいがもどかしいくらいいいみをとるすぴーどがあがつ
 てくる。するとこんどは、いわばしせんがもじのうえをしぜんにすきっぷしていくようなじょうた
 いになる。いまじぶんはめでもじをよんでいるのだというじいしきがきえる（かんぜんにきえるわ
 けではなく、きれぎれになる）。それでもいみはいっかんしてけいぞくしてながれこんでくる。ここ
 までくればさいこうである。せいしんのしゅうちゅうがこういうじょうきょうをつくってくれる。
 せいしんのうりよくをそこまでひきあげることができるかでいんぷつとのうりよくにはあつとうて
 きなさがつく（とうぜんのけっかとしてあうとぷつとのうりよくにもさがつく）のだから、せいし
 んしゅうちゅうくんれんをわかいときにしっかりやったほうがよい。さいしょにそくどくをもとめ
 てはならない。そくどくはけっかである。

- 2 次の①～⑩の文には正しくない漢字の使い方をしているものが五つあります。その番号（①～⑩）を選び、正しくない漢字と正しい漢字を書いてください。(4 点×5=20 点)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 身の気もよだつ怪談話 | ② 石に漱ぎ流れに枕す |
| ③ 正念場で采配を振るう | ④ 心を包んだ文を書く |
| ⑤ 亀の甲より年の幸 | ⑥ 上方落語を復行した桂米朝 |
| ⑦ 酒を絶って祈願する | ⑧ 駆引きと思惑が交差した交渉現場 |
| ⑨ 唐招提寺の勅額を賜り山門に懸けた | ⑩ 緊張が緩和し、対立が健在化した |

- 3 次の①～⑤の下線部の読みを書いてください。(4 点×5=20 点)

- ① 粹人は野暮を嫌う
 ② 前代未聞の椿事
 ③ 御高著を拝読する
 ④ 垣間見に始まる恋
 ⑤ 「富士には月見草がよく似合う」(太宰治『富嶽百景』)

- 4 次の①～⑤の下線部に該当する漢字を書いてください。(4 点×5=20 点)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ① 嘘も <u>ほうべん</u> | ② <u>まご</u> にも衣装 |
| ③ <u>このえ</u> 家は公家の筆頭 | ④ <u>せんりがん</u> で遠くを見ぬく |
| ⑤ 雨だれ石を <u>うが</u> つ | |

- 5 次の①～⑤の()に下線部に対応する言葉を入れて、常体と敬語表現のペアにしてください。(4 点×5=20 点)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 例：先生が、 <u>言った</u> | ・先生が、(おっしゃ) った |
| ① 帰ったら電話を <u>ください</u> | ・お帰りにになりましたらお電話を() |
| ② あなたは <u>誰</u> ですか？ | ・失礼ですが() でしょうか？ |
| ③ 先生に手紙を送る | ・先生に手紙を() す |
| ④ <u>ずいぶん失礼な言い方</u> ですね | ・ずいぶん失礼な() ですね |
| ⑤ 先生が心配 <u>していた</u> | ・先生が心配() いた |